

## 編集後記

昭和五十四年度より機関誌「同志社国文学」は、年二回刊行になった。第十五号を昭和五十五年一月中に、第十六号を昭和五十五年三月中に刊行する予定である。

年二回の刊行のため、各号の頁数は減少したが、二号分を合算すると、年一回刊の時よりも増加している。より多くの卒業生の論文を掲載したためである。

論文は、研究対象の時代順に並べてあるが、執筆者紹介にあるように、谷口、山田論文はそれぞれ本年度の修士論文を基にしたもので、小西論文は本年度の学部卒業論文をまとめたものである。新しい芽生えの実りを期待したい。

広田論文以下、それぞれに、ささやかながらも新しい発見と問題提起がなされている。厳しい御批判をまちたい。

向井 芳樹

### 同志社国文学 第十五号

昭和五十五年一月十五日 印刷  
昭和五十五年一月十五日 発行

編集者 同志社大学国文学会  
代 表 南 波 浩

発行所 同志社大学国文学会

京都市上京区烏丸今出川  
振替 京都二七三七

印刷所 共同印刷工業株式会社

京都市右京区西院久田町